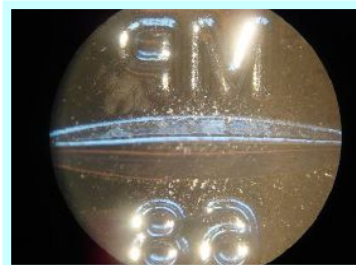


イブプロフェン+マンニトール+アイロジル高打圧打錠試験(刻印付き)

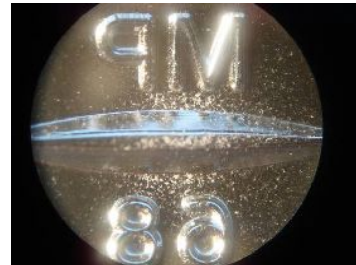
目的	刻印付き杵の付着量の変化を観察する。
使用薬剤	イブプロフェン30%、マンニトール70%、アイロジル0.5%
使用杵	EIP、鏡面+CrN、鏡面+HCr 以上 3種類の上下の杵
錠剤硬度	50-60N
打錠時間	40rpmで81分間行った。
打圧	本圧上ロール:470kgf 本圧下ロール:430kgf 予圧上ロール:40kgf 予圧下ロール:60kgf 押上圧力:16kgf
試験方法	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して高打圧にて打錠する。 ②打錠時間を均一に設定して打錠する。 ③打錠後、顕微鏡にて杵打錠面を観察する。

試験結果

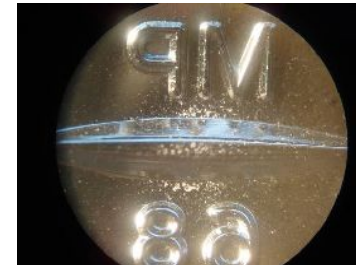
上杵



EIP(81min)



鏡面+CrN(81min)



鏡面+HCr(81min)

EIP: 中心部に粒状の薄い付着がわずかに発生した。
鏡面+CrN: 中心部に粒状の付着が発生した。
下杵に比べると付着は少ない。
鏡面+HCr: 中心部に粒状の付着が少し発生した。
下杵に比べると付着は少ない。

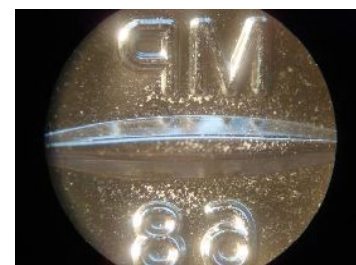
下杵



EIP(81min)



鏡面+CrN(81min)



鏡面+HCr(81min)

EIP: 杵全面にまばらに粒状の付着が発生した
鏡面+CrN: 中心部に粒状の付着が発生した。
鏡面+HCr: 中心部に粒状の付着が発生した。

以上の結果から、刻印付きEIP杵でステアリン酸マグネシウムを含有しない、イブプロフェン+マンニトール+アイロジルを高打圧で打錠する場合使用できることが判明した。